

令和10年
秋

新病院
開院予定

持続的な地域医療を確保するために

新病院は、令和10年秋開院を目指し、現在、建設工事が進められています。

新しい場所、新しい建物に加え、地域医療を強化するための新たな機能が加わります。

今月は、新病院の開院に先立ち令和8年4月に現病院に開設した^{かいふくき}回復期リハビリテーション病棟、と工事の進捗状況をお知らせします。

問合先 市立総合病院新病院整備室
(9西7) ☎ 22-1650

新病院の外観イメージ

回復期リハビリテーション病棟とは？

回復期リハビリテーション病棟は、病気やけがの治療を終え、病状が安定した方が、再び自宅での生活を目指してリハビリテーションを行う病棟です。この病棟では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、管理栄養士、社会福祉士などが連携し、1日の生活をまるごとリハビリテーションと捉え、退院後も安心して生活ができるよう支援します。

市立総合病院は、南空知地域の核となる病院として、病気を発症した直後やけがを負った直後に治療を行う急性期医療を担っています。そこに新たに加わったのが、回復期リハビリテーション病棟です。急性期の治療を終えた後に、在宅復帰に向けて集中的にリハビリテーションを続けられる体制が整いました。

どんな方が入院するの？

主に次の疾患や状態からの回復を目指し、集中的にリハビリテーションを行います。

- 脳や脊髄の^{せきずい}病気や外傷
脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄損傷などの発症後や手術後の方。
- 骨折などによる身体機能の低下^{しせきつう}
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝などの骨折や手術後の方。
- 手術や病気による一時的な身体の衰弱^{じやく}
外科手術や肺炎など長期安静後の筋力低下や動作訓練が必要な方。
- 人工関節の手術後
股関節や膝に人工関節を挿入する手術後の方。
- 心臓や血管の病気
急性心筋梗塞、狭心症、急性心大血管疾患などの発症後や手術後の方。



新病院の回復期リハビリテーション病棟

新病院の回復期リハビリテーション病棟は4人部屋が基本となります。また、病棟内はリハビリエリアと談話スペースが一体となり、明るく開放的な環境でリハビリテーションに取り組めます。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門スタッフと設備をさらに充実し、早期退院と社会復帰を支援します。

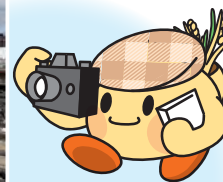


リハビリ専門
スタッフの増員



リハビリ機器
などの充実

いわみ記者が行く！現場レポート



建物の基礎づくりを進めています。この基礎の上には、免震構造、の要となる積層ゴム、などを設置し、大きな地震が起きても建物と患者や職員の安全を守り、診療機能を維持します。

新病院建設に関する最新情報は、市立総合病院ホームページをご覧ください

